

## 第 2 次行政改革期間中休止・凍結する事業

(単位：億円)

事業名	概算事業費 (億円)	第2次大綱 期間の方針	説明
八鹿小学校改築事業	8.1	凍結	喫緊の課題である耐震化工事を優先し、将来財政状況が好転したのちに、改めて改築を検討する。
小佐小学校改築事業	3.5	凍結	児童数の減少が著しいので、適正規模を確保する観点から、八鹿小学校との統合の検討を優先する。
図書館整備事業	13.5	凍結	4 公民館図書室の蔵書の充実とネットワーク化を進め、財政状況の好転を待って拠点館を検討する。
建屋小跡地(地域福祉・医療複合施設)	6.6	凍結	市全体の医療・福祉体制を検討し、当該計画の役割、規模等を明確にした上で実施する。
童話の館整備事業	6.0	凍結	生活基盤整備関連の課題が山積している状況では、当該事業を優先して実施することは難しい。将来的な課題とする。
八木城整備(施設整備)	4.7	凍結	養父市をPRする史跡としての価値や利活用の方策を検討し、有効性が確認された後に改めて整備の検討を行う。
林道田淵線(H18以降延長分)	3.3	凍結	森林基幹林道須留ヶ峰線の進捗が遅れており、当該事業を先行する必要性が少ない。須留ヶ峰線の進捗状況を見て整備時期を検討する。
(削除)			
万久里中瀬線	22.8	凍結	国道9号線の迂回路という位置づけであるが、現状で大きな交通停滞の発生はないので、将来の交通量の変化を見て実施時期を判断する。
(削除)			